



内閣總理大臣説明

御許シテ得タルニ依リマシテ、本日ノ議事ノ進行ハ私ガ之ニ當リマス、十一月五日御前會議決定ニ基キマシテ、陸海軍ニ於テハ作戰準備ノ完整ニ勉メマスル一方、政府ニ於キマシテハ凡有手段ヲ盡シ、全力ヲ傾注シテ、對米國交調整ノ成立ニ努力シテ參リマシタガ、米國ハ從來ノ主張ヲ一步モ譲ラザルノミナラズ、更ニ米英蘭支聯合ノ下ニ支那ヨリ無條件全面撤兵、南京政府ノ否認、日獨伊三國條約ノ死文化ヲ要求スル等新ナル條件ヲ追加シ帝國ノ一方的難歩ヲ強要シテ參リマシタ。若シ帝國ニシテ之ニ屈從センカ帝國ノ權威ヲ失墜シ支那事變ノ完遂ヲ期シ得ザルノミナラズ、遂ニハ帝國ノ存立ヲモ危殆ニ陥ラシムル結果ト

0663

相成ル次第デアリマシテ、外交手段ニ依リテハ到底帝國ノ主張ヲ貫徹シ得ザルコトガ明トナリマシタ。

一方米英蘭支等ノ諸國ハ、其ノ經濟的軍事的壓迫ヲ益々強化シテ參リマシテ、我國力上ノ見地ヨリスルモ、又作戰上ノ觀點ヨリスルモ、到底此ノ儘推移スルヲ許サザル状態ニ立チ至リマシタ。然モ特ニ作戰上ノ要求ハ之以上時日ノ遷延ヲ許シマセン。畢竟ニ至リマシテハ、帝國ハ現下ノ危局ヲ打開シ、自存自衛ヲ全ウスル爲メ、米英蘭ニ對シ開戦ノ已ムナキニ立チ至リマシタル次第デアリマス。

支那事變モ已ニ四年有餘ニ亘リマシタル今日、更ニ大戦ニ突入致スコトト相成リ、宸襟ヲ惱マシ奉ルコトハ洵ニ恐懼ノ至リニ堪エヌ次第テコサイマス。

然シナガラ熟く考へマスルニ我ガ戦力ハ今ヤ寧ろ支那事變前ニ比シ遙  
カニ向上シ、陸海將兵ノ士氣愈々旺盛、國內ノ結束益々固クシテ、舉  
國一體一死奉公、以テ國難突破ヲ期スベキハ私ノ確信シテ疑ハヌ所デ  
コサイマス。

就イテハ別紙本日ノ議題ニ付テ、御審議ヲ願ヒ度イト存ジマス。尙外  
交渉作戦事項其ノ他ノ事項ニ關シマシテハ、夫々所管大臣及統帥部  
側ヨリ御説明申上ゲマス。

0665